

仕合わせの和



第200号

H. 30. 11. 1
(毎月1日発行)

量より質が大事

住職 谷川寛俊

歌手、沢田研二といえれば一九七〇年代、一世を風靡したスーパースターの代表格であり、今なお現役歌手として活躍中です。現代の若者に聞くと「名前は聞いたことがある」・「歌を聞いたことがある」と、我々の世代からするとやはり随分と古い時代なのかと改めて思い知らされた。その沢田研二と私は生年月日が同じだと知って驚いた。

ところで、過日のドタキャン騒動でマスコミは連日取り上げていました。同世代として、あの一件に思うところがあつたので当欄に記載することにします。

ご存じない方のために騒動の一端をご説明すると、「沢田研二デビュー五十周年・古稀記念コンサート」と銘打って、さいたまスーパーアリーナでのコンサートを予定するも、観客9000人の入場予定が、7000人だったという結果を受けて、なんと開演一時間前に急遽コンサート

を中止したのである。

スーパーアリーナといえれば、東京往復の新幹線で大宮駅のすぐ真横に並ぶドーム型の大会場、スポーツのイベントをはじめ、各種コンサートが開催され、東京ドームに次ぐ大会場である。私が入ったことはないが、毎年7月の関東地区のお盆にアリーナの横を徒歩で往来しているので殊（こと）の外（ほか）身近に感じています。

ところで民主主義の基本は多数決が原則である事は周知の通りです。その意味では数が大事。経済の世界も同じ。テレビの視聴率もそうです。イベントの集客数など数が価値基準となってきました。それはある意味で正しい判断かもしれませんが。しかし一般的に考えれば、7000人という大ファンが全国各地から仕事を休んでまで来ている者もいたでしょう。また前泊までして集まってきたファンも大勢いたでしょう。それを入場者が少ないということ、沢田研二自ら「意地を通させて頂いた」とコメントしていた。また翌日にはマスコミの取材に応じ「自分の力不足で、大勢のファンの皆さまに深くお詫び申

「仕合わせの和」

と打ち込んで頂ければ、ホームページにつながります。

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268
携帯 **080-3744-2523**
こちらの番号でもお寺につながります。

し上げます」と、謝罪会見をしています。さすが大歌手、沢田研二氏の素直な人柄を垣間見たのが救いだった。色々と賛否両論があるようです。

同じように今年惜しまれて亡くなった故・西城秀樹氏は、観客が少なくと気さくに「皆さ〜ん。どうぞ遠慮なく前に集まって下さい」と、手招きままでして皆さんを喜ばせたとテレビの討論で知った。更に天才歌手と謳われた美空ひばり氏は、たとえ1人のファンであつても、歌い続けたとも聞きました。

確かに現代は数や量が大切な時代かもしれませんが。しかし宗教の世界・信仰の世界だけは量より質を大事にしたお釈迦様は8万4千という多くの法を説かれました。対象となつた人は一宗一派を率いる優秀な宗教者や学者、あるいは自分の名前すら忘れるような愚鈍な人、王侯貴族から貧しい人、老若男女などなど、多くのファンがいて、言うなればお釈迦様は質・量共に最高の

教化者（教える人）といえる。お寺での行事でも、たとえ参詣者が1人だったとしても、その数に動ぜず、全身全霊で法を説いていきたいと、今回の沢田研二氏の一件から、意を新たにしたい次第です。

守るべき意地やプライドもあれば、あえて捨て去る意地やプライドというのものもあるでしょう。それは当人にしか分かり得ない人間力だったり、人生観だったりするわけですが、世の中には色々な立場で、色々な人間の価値観が入り乱れているからこそ、大きな意味で丸く収まっているのかも知れません。目先の物事に一喜一憂せず、自分が信じる意地やプライドをシツカリ持つ事が大事なのかも知れません。

